

提言書

高速道路は、経済活動を支える重要な社会資本であるとともに、自然災害への備えを高める上で不可欠な基盤です。

ポストコロナ時代の「新たな日常」を実現するとともに、地方創生及び国土強靱化を推進し、ストック効果を早期に発揮させるためには、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が重要となります。

このため、四国の総意として、次の事項について提言します。

一、ポストコロナの経済的対応及び、国土の安全・安心を守るため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保と計画的な事業の推進、5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、中長期的視点で継続的に取り組む

一、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向け、事業中箇所を整備促進及び開通時期の早期提示

一、計画段階評価完了区間の早期事業化及び、未実施区間への計画段階評価の早期着手

一、有料の高速道路の良好なインフラを持続的に利用するため、料金徴収期間の延長による、更新事業等の追加や暫定2車線の4車線化などの機能強化に必要な財源の安定的な確保

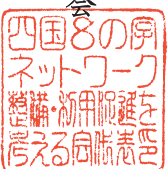
一、国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策の推進

一、高速道路のさらなる利活用を促進し、地域との連携を強化するため、休憩施設等の機能強化及びピンポイント渋滞対策の実施、スマートICの整備、ETC専用化等の推進

高速道路ネットワークの整備や頻発する災害に備えた防災・減災対策、老朽化対策を含め、長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和五年度予算では道路関係予算を拡大した上で、所要額を満額確保すること。

令和四年八月八日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会



書一第舟

四国経済連合会会長	佐伯 勇人
徳島県知事	飯泉 嘉門
香川県知事	浜田 恵造
愛媛県知事	中村 時広
高知県知事	濱田 省司